

	計画に記載している「めざす姿」「短期取組内容」	市・スポーツ協会・関係団体が実施した主な取組令和元年度～令和4年度	課 題	今後の対策
<p>環境 (気軽にスポーツに関わることができる環境づくり)</p>	<p>1. スポーツ施設の有効利用 【めざす姿】 わかりやすく、利用しやすい施設のルールになっている誰もがスポーツ施設を有効に活用できている 【短期取組】 ●スポーツ施設利用のガイドラインの作成や研修会の実施 ●スポーツ施設の予約方法や窓口の統一化</p>	<p>1. スポーツ施設の有効利用 ・古賀市公共施設予約システムの更改 (R4.10月本稼働) 【生涯学習推進課】 ・中学校学校体育施設の日曜開放 【生涯学習推進課】 ・市内運動施設の使用料と減免基準の見直し検討 【生涯学習推進課・都市整備課】 (参考：古賀市民体育館利用率：78.6%(令和4年12月))</p>	<p>○古賀市公共施設予約システムの認知度が低い(2.0%)(2022年度アンケート結果より)。 ○18歳以上の市民が1年間に運動やスポーツのために公共スポーツ施設を「利用したことがある」と答える割合が低下している(2017年度32.9% 2022年度21.9%) ○大会・運動会等参加人数が多い予約が重複した場合、施設が利用しづらい(駐車場)。 ○施設使用料の適正化(減免・市外料金)がなされていない。</p>	<p>○古賀市公共施設予約システムやクレジット決済機能の認知度向上に向けた取組 ○中学校体育施設の開放を含めた既存スポーツ施設の認知度を高めるための周知、情報発信の検討 ○大会等での施設利用の場合は、予約調整会議を充実し重複予約を防ぐ ○使用料の適正化に加え、公園スポーツ施設との利用窓口及び運用方法の統一化に向けた検討 ○個人の施設利用が可能か。(可能)</p>
	<p>2. 効果的な情報提供 【めざす姿】 魅力的で分かりやすい、旬なスポーツ情報が提供されている 【短期取組】 ●効果的な情報発信の実施 ●分かりやすい情報発信の仕組みづくり</p>	<p>2. 効果的な情報提供 ・スポーツ団体ラインアカウント、市公式ライン、古賀市教育委員会Facebook、広報等を活用してスポーツ情報を発信 【生涯学習推進課】 ・スポーツ協会HP、広報等を通じてスポーツ協会活動を発信 【スポーツ協会】</p>	<p>○旬なスポーツ情報、市民が関心を持つスポーツ情報の効果的な発信が十分でない。 ○スポーツ情報の入手方法について、SNSによる割合が低い(14%)(2022年度アンケート結果より)。 ○市が市民や団体等に発信したイベント情報が十分に行き渡らないことがある。</p>	<p>○国際大会開催等の旬なスポーツ競技や市内出身者が国際大会に出場する等の情報など、スポーツ団体や行政との情報交換の活発化と発信の促進 ○市民が興味・関心を持つ効果的な情報発信方法の工夫 ○市公式Lineの登録促進及びSNSによる情報発信の強化</p>
	<p>3. スポーツ資源の有効活用 【めざす姿】 特色あるスポーツ資源が活用されている 近隣自治体と広域施設利用やスポーツ交流が図られている 【短期取組】 ●施設や人材などスポーツ資源の発掘と活用方法の調査研究</p>	<p>3. スポーツ資源の有効活用 ・ウォーキングイベントでの歩いてん道の活用 【生涯学習推進課】 ・プラattendウの取組 「プラッテン=プラス10分」「ドウ=道、動、Do」 【生涯学習推進課】 ・広域ウォーキングの実施 (連携団体：薦野歴史をつなぐ会、ふくま郷づくりの会) 【生涯学習推進課】 ・リーバスカレッジでの地域資源を活用したコース設置 【生涯学習推進課】 ・ウォーキングマップ作り 【生涯学習推進課】</p>	<p>○18歳以上の市民が「歩いてん道」を認知している割合が目標値(50%)を超えている(64.1%)が、歩いたことがある人は26.2%未満であり、十分に活用されていない(2022年度アンケート結果より)。 ○スポーツ資源の老朽化・損傷により、スポーツの実施機会が損なわれる。 ○スポーツ教室等は常に活用できる施設を建設し環境整備を整えること。</p>	<p>○歩いてん道はいつでも誰でも利用できるスポーツ資源であるため、市民向けに情報発信を行い、今後も認知度を高めるとともに、積極的な利用を促進する取組(朝活ウォーク等)の実施 ○体育館などにおける設備(床面、照明、備品等)が老朽化・損傷によりスポーツ実施機会が損なわれないよう、施設の点検と維持補修の充実</p>